

市政の窓



11月28日、令和4年12月吉野川市議会定例会開会日、原井市長は令和4年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針についてその所信を表明し、市民の皆さんや市議会に理解と協力を求めました。要旨は次のとおりです。

住民満足度とまちの魅力の向上を目指して

令和元年10月に、吉野川市政の舵取り役を託されてから、早いもので3年が過ぎ、残りの任期も1年を切りました。これまでの3年間、市民の皆さんの負託に応えることができるよう、市政運営に真摯に取り組んで参りました。

厳しい財政状況下において、「予算を使う前に知恵を使う」、その方針を徹底し、一日も早く、この財政危機を突破するとともに、市民の皆さんが吉野川市の将来に希望を持っていただけるよう、中長期的な視点に立って、持続可能な市政運営に向けて、全力で取り組んできたところでございます。

今後とも、市民の皆さんの声に耳を傾け、対話を重ねな

がら、共にまちづくりを進め、「住民満足度」と「まちの魅力度」の向上を目指して、最大限の努力を重ねて参ります。

新型コロナウイルス感染症

県は、11月14日にとくしまアラートを「レベル2・感染警戒・前期」へ1段階引き上げました。

この度のアラート引き上げは、国の方針に沿い、市民の皆さんや事業者の方々へ行動制限を求めるものではありませんが、全国の感染状況から第8派の到来とも言われています。季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されていますので、市民の皆さんには、引き続きマスクや手指消毒、3密の回避や換気など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

各種イベントの開催状況

新春に開催される徳島駅伝の前哨戦として県内ランナーに人気の高い「美郷一周駅伝」は12月4日に、「四国遍路」および「藍のふるさと阿波」の2つの日本遺産を走る「吉野川市リバーサイドハーフマラソン」は令和5年2月26日にと、それぞれ3年ぶりに開催することとしました。



成人式の開催

本年4月の民法改正に伴い、成年年齢が18歳となりましたが、本市では、令和5年以降も従来どおり20歳を迎える方を対象として、その名称を新たに「二十歳（はたち）」を祝う会」と冠し、令和5年1月3日に、日本フネン市民プラザで開催します。

令和5年度当初予算編成

令和5年度当初予算編成は、厳しい財政状況に変わりはなく、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、昨今の原油価格・物価高騰など、対応すべき課題が山積みの状況であることから、これまで以上に「予算を使う前に知恵を使う」を徹底し、現在作業を進めています。令和5年度当初予算編成により、「本市の活性化」とともに、一日も早い「財政危機突破の実現」に向けた道筋をお示しできるよう、私自身が常に先頭に立ち、この難局を乗り切ってまいります。

ホームページのリニューアル

新たなホームページは、「見やすいレイアウト」をコンセプトに、高齢者や障がい者の皆さんを含め、誰もが提供される情報を支障なく閲覧できるよう、背景と文字の色などのコントラスト比への配慮など、「ウェブアクセシビリティ」の向上にも対応しています。また、外国人の方にも配慮し、外国人登録者の状況などに鑑み、対応する言語の



ホームページ新デザイン

ポर्टレステケット ショップ阿波かもじま

10月1日、徳島県内で2箇所目となる、ポर्टレステケットの場外券売場「ポर्टレステケットショップ阿波かもじま」が、オープンしました。

当初の見込みを大幅に上回り大変好評をいただいていると伺っています。

本施設が本市の「賑わいづくり」の一端を担っていただけることを期待しています。

連携協定の締結

10月21日、三井住友海上火災保険株式会社と包括連携協定を締結しました。

本協定による連携事業としては、SDGsの専任講師による職員向けの研修を実施するほか、同社が開発した防災専用アプリの利用や、災害時の迅速な被災証明書の発行のため、同社が実施した損害調査結果の提供などについて、協力をいただくこととされています。

子育て・教育の満足度向上

●小学校施設整備事業

各学校の空調設備については、年次計画的に更新を行っています。今年度、川島・学島・山瀬の3つの小学校について、改修工事を前倒しし実施することとしました。

来年の夏を迎えるまでには、工事が完了し、新たな空調設備により、より良い教育環境の提供につながると考えています。

●感染症対策妊婦応援臨時給付金事業

本年4月1日以降に出生された方や7月1日以降に母子手帳の交付を受けられる方を

対象に、1人あたり10万円を給付する本事業は、制度開始から5カ月が経過しようとしています。

10月末現在、出産された方および母子手帳の交付を受けた妊婦中の方の合計205名の方への給付を完了しています。

申請期間は、令和5年3月31日までとなっていますので、対象となる方はできるだけ早い時期に申請いただき、安心して出産・育児に臨んでいただければと考えています。

暮らし・福祉の満足度向上

●第9期吉野川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査

本市では、「吉野川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、高齢者の方が住み慣れた地域で支え合い、自分らしい生活が送れるまちづくりを目指しています。

この度、現計画に代わる第9期計画の策定に向け、まずは、本市の高齢者の皆さんの状況やニーズを把握するための「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」および「在宅介

護実態調査」を実施します。

第9期計画は、「団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護の分野にも大きな負担を生じることが予想される」、いわゆる「2025年問題」の始まりの年となる、令和7年を計画期間に含み、超高齢社会を迎える中で、将来を具体的に見据えた重要な計画として位置づけられるものと考えています。

移住定住・にぎわい創出の魅力度向上

●地域おこし協力隊の活用

現在、観光振興や中心市街地活性化などの業務に、5名の隊員が活動しています。このうち、1名の方が本年度末に任期満了となり、本市で起業、定住し、11月1日、鴨島駅近くのビルにコワーキングスペースを兼ね備えたゲストハウスをオープンしました。

地域おこし協力隊は、地域外の人材の定住・定着を図り、地域力の維持・強化に資する取り組みであり、国において、現在約6000人の隊員数を、令和8年度に1万人まで増やす目標を掲げています。また、令和5年度、隊員の

受入れ先として、新たに農業や広報などの分野を追加・拡充することし、現在、新年度に向けて募集手続の準備を行っているところ です。

令和4年度 地域づくり表彰の受賞

このたび、「特定非営利活動法人・美郷宝さがし探検隊」が、国土交通省主催の「地域づくり表彰審査会特別賞」を受賞しました。

「美郷宝さがし探検隊」は、美郷の活性化を目的に、平成10年に発足し、国天然記念物のホテルや特産品の梅といった資源を活かし、「梅の花まつり」や「はたる祭り」、「高開の石積みライトアップ」など、年間を通して多くのイベントを実施するとともに、美郷にはた館を拠点に、地域の窓口コオーディネーターとして、移住促進や地域外の方々との交流など、多くの活動に熱心に取り組んでいます。

今回の受賞を機に、既に始まっている若い世代との連携により、地域の活動が次世代へ継承されることを大いに期待しています。

成長する産業づくりの拡大 ●吉野川市プレミアム商品券

数を増やしました。

これにより、本市の情報がこれまで以上に見やすく、便利で分かりやすく、そして、本市の魅力が伝わるようになるものと考えております。

事業の成果およびおえクーポン事業の進捗状況

無作為抽出した5000人のアンケート調査では、「今後でもやってほしい」、「あがりた」、「商品券が使えて助かる」など、好意的な意見を数多くいただいています。

本市では11月以降も「原油価格高騰・物価高騰」の影響を受けた市民や事業者の方々の継続的に支援するため、市内の登録店舗で使える1人当たり5000円のクーポン券を配布する「おえクーポン事業」を実施しています。

クーポン券の利用期限は、令和5年2月14日までとなっていますので、多くの市民の皆さんの利用をお願いします。

●雇用の確保および地域経済の活性化

10月26日、日本フネン市民プラザにおいて本市とハローワーク吉野川の共催により「就職マッチングフェア」およびふれあい就職面接会を開催したところ、35企業および68人の求職者が参加し、23組の採用が実現しました。

今後とも引き続き徳島労働局などの関係機関と連携し、就職支援の取り組みを図っていきます。